

登録コード	HM218202	開講年度	2026				
授業題目	母子保健学特別研究					担当教員	中山 佳子
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Child and Women's Health Science					副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	母子保健学ユニット / 1～3年次
講義室			授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					母子保健学領域において、対象者が抱える健康問題に対して、エビデンスに基づく十分な知識を前提に、独創的な発想で課題を解決するための新たな技術やシステムを探索することができる。	
(2)詳細/Detailed information	母子保健学領域における科学的根拠に基づく保健活動を実践するための能力を獲得する。						
(3)授業の概要/Overview of course	母子保健学領域に関連した研究課題を設定し、適切な研究方法による研究計画を作成する。これによりデータの収集・分析を行い、研究論文を作成する。						
(4)授業計画/Course plan	日時は受講学生と検討の上、決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 ・母子保健学の臨床から得た課題に関する文献検討を行い研究テーマを設定する。 ・テーマに基づく研究計画を立案し、審査を受ける。 ・データ収集・分析を行う。 ・博士論文の作成、研究成果のプレゼンテーションを行う。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究課程・論文内容で70点、プレゼンテーション・質疑応答で30点、合計100点満点で60点以上を合格と評価する。 判定基準は、90 - 100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）、60点未満（不可）とする。 研究課程・論文内容は下記の項目で評価する。 研究の目的・方法・結果・考察について十分に理解し、明確に説明できている（30点） 研究内容について提起される質問に対して、論理的に説明できている（30点） 研究の将来展望について論述できている（10点） プレゼンテーション・質疑応答で30点						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	自ら積極的に探究する姿勢を期待します。 事前学習：次回の授業に関する課題を毎回課します。 事後学習：前回の授業内容に関する質問を毎回行います。 授業前後に1時間程度の自己学習を行うこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時受け付ける。 中山佳子：ynaka@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式/Course format	適宜プレゼンテーションとディスカッションを行いながら進めます。						